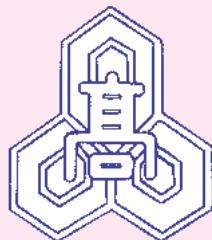


大田高校P T A広報



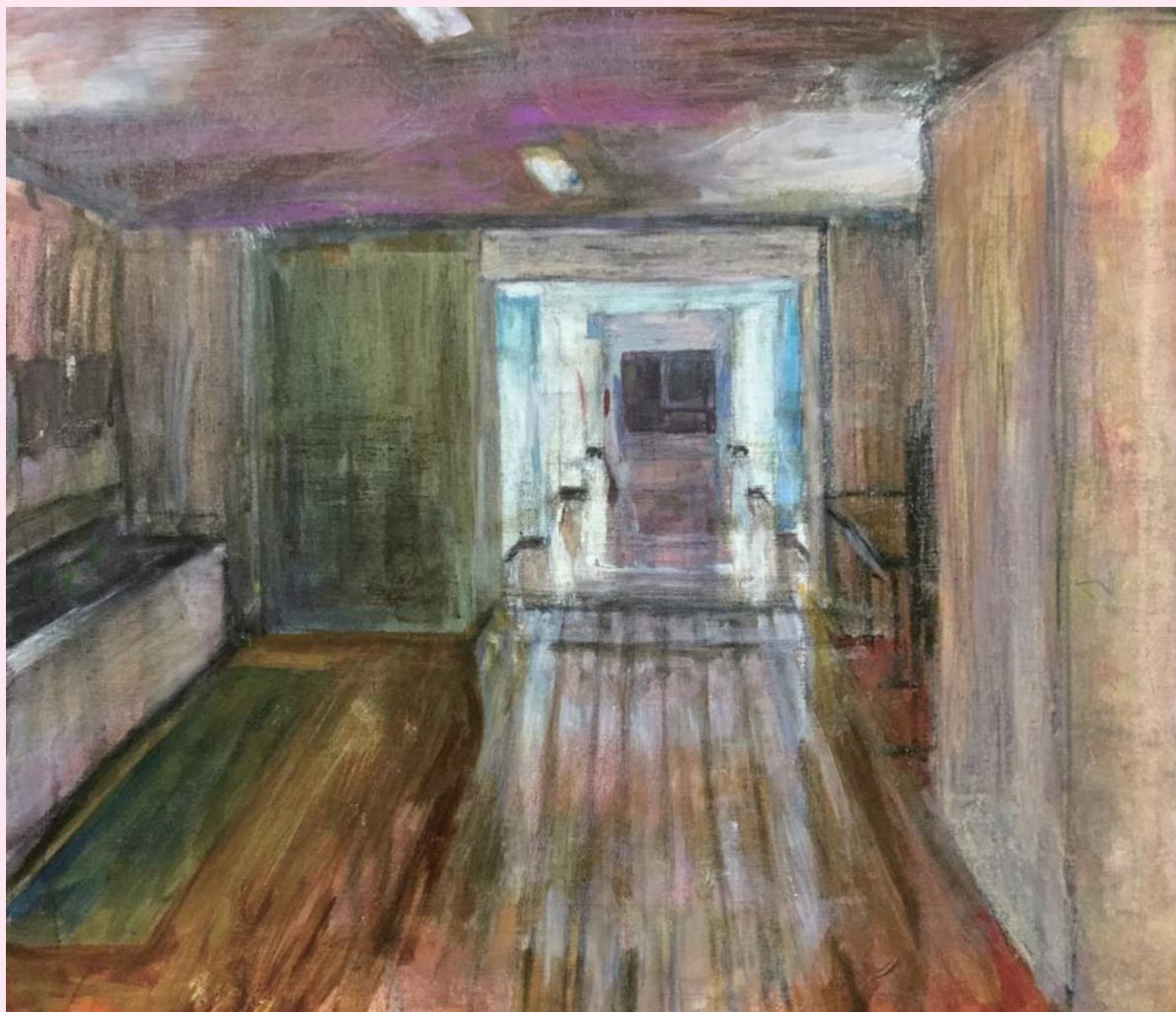
泰山木

Taisanboku

第114号

平成31年3月1日

島根県立大田高等学校
P T A 総務委員会



恩送り

校長 渡邊宏志

三学期の始業式で、「恩送り」について話しました。『恩送り』とは、誰かから受けた恩を直接その人に返す恩返しと違い、別の人へ送ることです。英語では、ペイ・フォワード(Pay forward)と言います。かつてセントラル試験の英語に登場した感動的な物語の中で、親切な行為をした女性が、少女に言葉をかけるシーンを紹介しました。

「どうかこれを私の贈り物としてお受け取りください。あなたから代金の支払いは期待しません。ただ、将来あなたと出会う見知らぬ人に同じような親切なことをなさつてください。」東京でIT企業を経営されている方から、昨年四月、大田高校生のために将来きっと必要なIT教育をしてほしいと、多額の寄付をいただきました。以前大田高校に在籍されていたときも、当時の先生、先輩、新聞部のおかげで、今の自分がいるんだよ」と懐かしそうに語ってくださいました。三年生は受験で忙しい時期でしたので、一・二年生を対象に本校初のプログラミング学習をスタートさせました。まさに『恩送り』です。

二年生理教科の研修旅行で、たくさんの卒業生の方々から差し入れや貴重なお話をいただきました。一年生は、卒業生であるIT企業の松井社長から『未来を創る当事者になろう』という演題で生き方講座をしていただきました。これも『恩送り』です。

伝統校である本校最大の強みは、こうして『恩送り』をしてくださる先輩たちに恵まれていることです。ありがたきかな、瓶陵会です。私たち教職員は、「先生、ありがとうございます」というこの一言以外何もいりません。恩返しのことなど気にせず、甘えるだけ甘えてどんどん成長してほしい。その代わり、将来一人前になつて、二十年後、三十年後の未来の大高中生に、『恩送り』をしてくれば、こんなうれしいことはありません。

卒業生へ贈る言葉

保護者より

卒業生へ贈る言葉

森山智加

卒業によせて思うこと

角国公子

補助輪

門崎公二 卒業生へ贈る言葉

卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。先生はじめ職員のみなさまの熱心なご指導と多くの友だちに恵まれ、今日を迎えた事に感謝申し上げます。

さて、四月から新生活が始まります。でもちよつと幼い頃に話を戻します。あなたの自転車の乗り始めは補助輪付きでした。嬉しそうに近くの公園まで、曲がり角に差し掛かった時、補助輪は溝の上を通過し、地面に接していませんので、重心は傾き、自転車ごと溝に転落。痛かったと思うけど、お父さんが大笑いするから、痛みをこらえて一緒に笑っていましたね。

これからも試練が待つてはいると思うけど、失敗を恐れず、常にチャレンジしていくください。自分の失敗を笑い話にできる事が成長に繋がり、多くの人の心を掴みます。お父さん、お母さんは補助輪みたいな物です。さあ、自分の道に向かってペダルを漕ぎましょ。

卒業生へ贈る言葉

日高大治

卒業生の皆様、卒業おめでとうございます。あつという間の三年間でしたか？長い三年間でしたか？人それぞれの思いがあると思います。我々親も、

とても感慨深いです。勉学、部活動、いろいろなことがあります、とても大変な日々だったと思います。四月からは二人一人違う夢を持つて、違う道を歩んでいきますが、しつかりとした気持ちを持つてください。これからは、子供じゃないということを自覚して生きていってほしいです。最後に、三年間力になつてくれたお父さん、お母さんに感謝して「ありがとうございます」の言葉をかけてください。またお世話になつた先生方にも「ありがとうございました」という言葉をかけてください。

いう言葉をかけてください。
三年間、お疲れ様でした。これから
も精一杯、全力で生きてください。卒
業、おめでとう！

A black scroll tied with a ribbon and a small bouquet of flowers.

卒業生の皆様、卒業おめでとうござります。

この時期になると思い出しがあります。巷で有名な占い師に「希望の高校に合格できますか。」と聞くと、「努力次第です。ただ、学校を辞めたいと言いますので、気を付けてください。」と言われました。不安な思いを残しながら入学式に臨みましたが、無事に卒業を迎えることができました。そんな思い出に浸りながら、皆さんにこんな言葉を贈りたいです。「人生は物を育てることの繰り返し。目標に向かって実をつけることもあるが、失敗することもある。失敗したらそれを教訓に、また目標に向かう。その繰り返しだ。」これから先、希望と目標を持ち、それぞれの道に進まれると思います。長い人生、つまずく時もあります。そんな時に、この言葉をふと思いつけてもらえたたら・・・と思っています。

最後に、ご指導いただいた先生方に感謝申し上げます

三歳の頃「学校には通えないかもしれません」と言われたわが子が、小学母校、中学校を卒業し、あと数日で高校の卒業式を迎えようとしています。彼は集団のなかでコミュニケーションをとることが難しかったり、指示がうまく通らなかつたり、まわりに合わせてみんなと一緒に何かをすることが苦手でした。このことは彼の短所でもあります。ですが、長所でもありました。まわりの影響を受けたり流されたりすることがないので、人とは違う視点で自分の考えを持つていて、クラスのなかで自分一人だけ違う考え方だつたとしてもその考え方を変えることはありませんでした。また、まわりから受けける評価を気にしないので、失敗や間違いを恐れず行動することができました。担任の先生がこのことをみんなの前で褒めてくださり、集団のなかでの難しさが、まわりから認められる良さに変わりました。これまで温かく見守つてくださつたすべての方への感謝の気持ちを忘れず、これからもこれまで通り、いま自分に出来ることを惜しまず頑張つていきましょう。卒業おめでとう。

私の高校生活は、苦しいこともあります。しかし、とても充実していました。学習面では、テストの点数や成績が伸び悩みました。何事にも積極的にチャレンジしています。

家庭には本当に感謝しています。大田高校で学んだことを活かして、厳しい練習から逃げ出したくなることもあります。大田高校で学んだことを活かして、とにかく新たな環境での生活になります。

何事も積極的にチャレンジしていきます。

河島悠生

私の高校三年間は、苦しいことがたくさんありました。たくさんの友人たちや先生方に支えられ、楽しく高校生活を送ることができました。勉強と部活動の両立はとても大変でした。勉強が疎かになってしまふことや、厳しい練習から逃げ出したくなることもあります。仲間と励ましたが、クラスメイトや部活動の仲間と一緒に成長していくことができました。友人たちや先生方、家族には本当に感謝しています。

四月からは新たな環境での生活になります。大田高校で学んだことを活かして、とにかく新たな環境での生活になります。

河島悠生

三年生からのメッセージ

高校生活を振り返って

一組 森山和輝

旅立ちによせて

四組 中島奈美子

高校生活は、ついこの前に入学したと思えるほど、あつという間でした。本当に日々充実していて、忙しくも楽しい日々を過ごすことができました。

そういつた高校生活の中で、周りの人達の支えはとても心強く感じられました。勉強や部活動などは、先生や友達、後輩のおかげで努力し続けることができました。また受験の時も多くの先生方に支えをいただきました。本当に感謝しています。

後輩へのメッセージ

四組 角国環音

私ははどうしても出来ないことがあります。しかしながら、私が出来ないことは、きっと誰かそれが出来る人がいるはずだ。逆に私が何気なく出来ることが、他の誰かには出来ないことかもしれない。そういうながら、その時その時に私が出来るこれを、惜しまず一生懸命に取り組みました。もちろん怠けてしまう時、張れない時もたくさんありました。それが、頑張れば、そのうな時に頑張りました。そのおかげか、部活動では、中学時代から憧れかた上位大会の舞台に立つことができました。もちろん、私一人の力ではなく、メンバーが同じ思いでその時出来ることを頑張った結果です。

遠足



3組

1組

4組

2組

新たな旅立ちに向けて

三年一組 担任 山本 泉
副担任 江田 修一

人生を楽しく

担任 山本 泉

人生には、耐えがたい苦しみを耐えねばならないときがあります。一方で、至上の喜びを感じることもあります。それが人生です。

私のこれまでの人生はなかなか波乱万丈で苦労の連続でした。その辛い日々が続く中、ふと考りました。辛い辛いと考えて生活しても仕方がない。これは私が成長するための試練、全てが修行、楽しんでやってやろうと思うようになりました。それからは気持ちが少し楽になり、何でも前向きに取り組めるようになりました。すると不思議なことに、それまでの生活は激変し、「何だが人生面白くなってきた」と思い始めた時、皆さんに出会ったのです。

皆さんにとって、うれしいことは何ですか?大切なものは何ですか?学習を積み、学業成績を上げることは大切です。しかし、人にはそれ以上に大切なことがたくさんあります。挨拶、掃除、マナー…。皆さんはそのことに気付き、何事にも眞面目に

人生には、耐えがたい苦しみを耐えねばならないときがあります。一方で、至上の喜びを感じることもあります。それが人生です。

私のこれまでの人生はなかなか波乱万丈で苦労の連続でした。その辛い日々が続く中、ふと考りました。辛い辛いと考えて生活しても仕方がない。これは私が成長するための試練、全てが修行、楽しんでやってやろうと思うようになりました。それからは気持ちが少し楽になり、何でも前向きに取り組めるようになりました。すると不思議なことに、それまでの生活は激変し、「何だが人生面白くなってきた」と思い始めた時、皆さんに出会ったのです。

皆さんにとって、うれしいことは何ですか?大切なものは何ですか?学習を積み、学業成績を上げることは大切です。しかし、人にはそれ以上に大切なことがたくさんあります。挨拶、掃除、マナー…。皆さんはそのことに気付き、何事にも眞面目に

取り組んできました。思いやりを持ち、常に優しさをもって行動してきました。そんな皆さんに将来超有望です。きっと辛いことばかりの人生ではないでしょう。それでも、もしかしたらどうしようもない辛い状況に陥ってしまうかもしれません。そんな時は、「現在修行中、しばらくの辛抱」くらいに考えてください。皆さんならきっと乗り越えられるでしょう。

いつか、さらに素敵になった皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



三年一組 担任 小岩 紀仁
副担任 石井 洋

祝卒業

担任 小岩 紀仁

三年生の皆さん卒業おめでとうございます。大田高校に赴任してあつたという間の一年間でした。皆さんの貴重な高校生活の中で役に立てたことが少しでもあれば幸いです。

皆さんのがんばりに感謝の意を伝えたいと思います。

一つめは、自分で枠を作らず様々なことに挑戦して欲しいということです。一見難しそうなことでもやつてみれば意外とできることも多いです。そこから想像もしていかつた未来が開けるかもしれません。

二つ目は、一度始めたら簡単に諦めないということです。これから長い人生うまくいかないことも多いでしょう。ひょっとするとうまくいく方が少ないのかかもしれません。しかし、ちょっとくらいうまくいかなくとも負けないで欲しいと思います。試行錯誤を繰り返し掴んだ夢や目標はその後の人生の糧となるはずです。

三つめは、今まで書いたことと矛盾しますが、本当にどうしてもうまくいかない時には方向転換することも大事だということです。皆さんはまだ若くいくらでもやり直しがきく

はずです。ある時点で自分が絶対正しいと思ってした決断も、時間が経つて冷静に考えれば、別に良い方法が思いつくかもしれません。そんな時は、思い切って方向転換することも必要かもしれません。

皆さんと過ごしたこの一年間本当に楽しかったです。この年になつても多少は成長できた自分を感じられるのは、皆さんのおかげです。目標を上げ、何事に対してもひたむきに、皆さんらしくいてください。いつまでも応援しています。



三年三組 担任 大崎 昌裕
副担任 内田 一知

3年生のみなさん、保護者のみなさんは、「ご卒業おめでとうございます。」大田高校での3年間の学びの上に進路を選択し、入社および入学試験に挑み、乗り越え、別々の道へ歩み出そうとしています。そして、大田高校を巣立ち、様々な人生を歩んでいくことになります。これから的人生では、より多くの、より大きな選択をしないといけない場面に巡り合う可能性があります。その時に助けとなるのが、学んできた知識や考え方です。それでも大きな選択の前では、迷いが生じます。色々な人から助言をもらつても、自問自答を何度も繰り返しても決まらないような究極の選択が迫った時、それは「最良の2つの選択肢」なのです。どちらを選択しても大丈夫であり、大切なことはやり方となりますが、「無理」は道理に合わない、程度に対する深い考え方のことです。「無理へ無茶へ無謀」です。「無理」とは絶対的な否定で



ではなく、困難なことなのです。人生には「無理」をしなければいけない時もあります。自分の選択に勇気を持つて進んでいきましょう。

三年四組 担任 乙原 泰博
副担任 松下 知広

しかし、前に進むだけが勇気ではないです。当たつて砕ける精神だけでは、何も得られず本当に身体がつぶれるだけです。勇気ある撤退も必要です。究極な状況では、やらなければ後悔する場合もあり、幅広い視野での無理・無茶の判断力が大切です。なお、「無謀」は他人に迷惑をかける場合もあり論外です。決して「無謀」な選択はしないでください。

これから、みなさんより良い選択ができるとを願い、信じています。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。三年間の様々な出来事を振り返ると、寂しさがこみ上げてきます。お別れする皆さんに、私自身の経験から思うことを伝えて最後の言葉にしたいと思います。

長い人生の中で、人は「辛い」と感じる出来事を幾つか経験します。私の中で最も辛かった経験は小学五年生の時の「父親の死」、そして自分自身の「腎不全」という病気との闘いです。どちらもその瞬間は受け入れがたい、「未来」の見えない出来事でした。しかし「未来」ではなく「今」をどう生きるかを考えたとき、心の中の何かが変わり、前向きになれたことを今でも覚えています。

これから皆さん長い人生を生きていく中で、たくさんの「辛い」と思ふ出来事に出会うでしょう。そんな時は、「未来」のことを考えすぎず、「今この時」をどう過ごすのか



をまず考えて欲しいと思います。「今」を前向きに生きるために、まずは現実を受け止めることが、そこから自分でできることがあります。皆さん、どんなに辛いことがあつても自分自身の人生を生き抜いて下さい。生きることで「生きがい」も見つかるのです。皆さんこれから活躍を心から願っています。頑張って下さい。

新たなる旅立ちに向けて

在校生からのメッセージ

ました。皆さんは私達の誇りです。

(二年男子)

ご卒業おめでとうございます。三年間、大田高校で活躍してこられた三年生さんは、とても美しく、かつこよかったです。もう三年生さんと会う機会はほぼないくらいなので、とてもさみしいです。これまで三年間お疲れ様でした。これからも精一杯がんばって楽し人生を送つてください。

(二年・男子)

部活動の後に、みんなでご飯に行つたりしたのがとても楽しかったです。三年生たちと部活動をしたことは、とても良い思い出になっています。今でもいいので、部活動に顔を出してください。

(二年・男子)

いつも模範を示してくれた三年生のみさんがおられたおかげで、いろいろ行事が盛り上がり、良いものに感じられました。そんな見本を示せる三年生になるため、精進いたします。後はお任せください。

(二年・男子)

体育祭が終わつてから、ひたすら勉強にむかつている姿を見て、すごいなと思いました。さまざまな場所へ行かれると思いますが、その場所でがんばつて下さい。

(二年・女子)

体育祭のダンスの練習や競技の練習のときに、丁寧にコツ等を教えてください、とても有難かったです。また部活動の祭には、一生懸命に物事に取り組む三年生の姿を見て、自分も頑張つてみようと自身を鼓舞することができ

ました。皆さんは私達の誇りです。

(二年男子)

三年間高校生活お疲れ様でした。体育祭では引っ張つていただきたり、話しかけてくださいって、とても楽しい思い出になりました。

三年生の皆さん忙しそうな姿を見て、自分も三年生の皆さんのようにで

きるかが不安です。

卒業してからも頑張つてください。

(二年女子)

卒業おめでとうございます。

あまり関わりはなかつたですが、陰でたくさんお世話をしました。大高祭での合唱コンクールでは、曲決めからたくさんアドバイスをいただき、三年生のおかげで金賞を取ることができました。これからもお元気で。

(二年女子)

今までありがとうございました。直接あまり関わらなかつたけれど、知つていい先輩は廊下で会つたとき、手を振つてくれたりしてとても嬉しかつたです。受験勉強を一生懸命している先輩たちは、とても頼もしく手本になりました。これからも頑張つてください。

(二年女子)

部活動で、たくさん指導したり、声をかけたりしてくださつて、ありがとうございました。できるようになつたことが増えたり、試合中のミスを切りかえることができたりしました。面白くて、かつこよくて、短い期間でしたが、一緒に活動することができて、本当に楽しかつたです。大高祭では、楽しいダンスを考え教えてくださいました。

(一年・女子)

これまで大高を引っ張つてくださつて、ありがとうございました。部活動などでもいろいろとお世話になり、体育祭でも組をまとめる姿がとても頼もしかつたです。これから大学や専門学校、就職など様々な道に進んで、不安とかも大きいと思いますが、新しい世界に大きく羽ばたいていくください。

(一年女子)

特に部活動でお世話になりました。日常でも、大会でも、頼れる先輩ばかりで、存在がありがたかったです。もうすぐ卒業ですが、その後には私たちには大きな大会があります、先輩方が以上の成績が残せるように練習していきます。ありがとうございました。

(一年男子)

受験おつかれさまでした。センター試験の前に、先生に熱心に勉強を教えてもらつて、がんばつてください。応援しています。

(一年・女子)

高校三年間本当にお疲れ様でした。いつも放課後、一生懸命教室で勉強されている姿を見て、自分も頑張らなければなりません。三年生の皆さん何事にも真剣に、そして楽しく取り組んでいくような集団に、僕たちもなりたいです。今まで本当にありがとうございました。

(一年男子)

ダンスでは、自分が休んで分からぬ所や、うまくできない所を、丁寧に、くり返し教えていただきました。また入学したての頃、何もかも初めてでたふたして、いた自分に、やさしい言葉で、すべきことを教えていただき、本当に感謝しています。

ありがとうございました。

(一年・男子)

御卒業おめでとうございます。三年生の皆さんには体育祭のときなどでお世話をしました。短い練習期間で、ダンスを丁寧に教えてくださつたり、暑い中弱音を吐かずに引っ張つておられる姿は、とてもかっこよかったです。また体育祭から勉強の切り替えもすごいと思いました。春からはそれぞれの道で頑張つて下さい。

一年間ありがとうございました。

(一年女子)

あつという間の一年間で、信じられないほどの思い出ができました。特に部活動、体育祭では三年生のおかげで、楽しく終始笑顔でやることができました。本当にありがとうございます。そんな先輩が卒業されるのは悲しかつた。今年度の思い出は忘れないでください。

(二年・男子)

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。とても短い間ではありましたが、三年生の皆さん、最高学年にふさわしい堂々とした姿を見て、たくさんのこと学ばせていただきました。ありがとうございました。そして三年間、本当に疲れ様でした。

(二年・女子)

三年間お疲れ様でした。大高祭や様々な場面で見る先輩の皆さんはとてもかっこよかつたです。

試験など、全てのことに対するお疲れ様でした。これからもそれぞれの将来に向かってがんばつてください。応援しています。

(一年・女子)

ご卒業おめでとうございます。大高祭では、とてもお世話になりました。

(一年・女子)

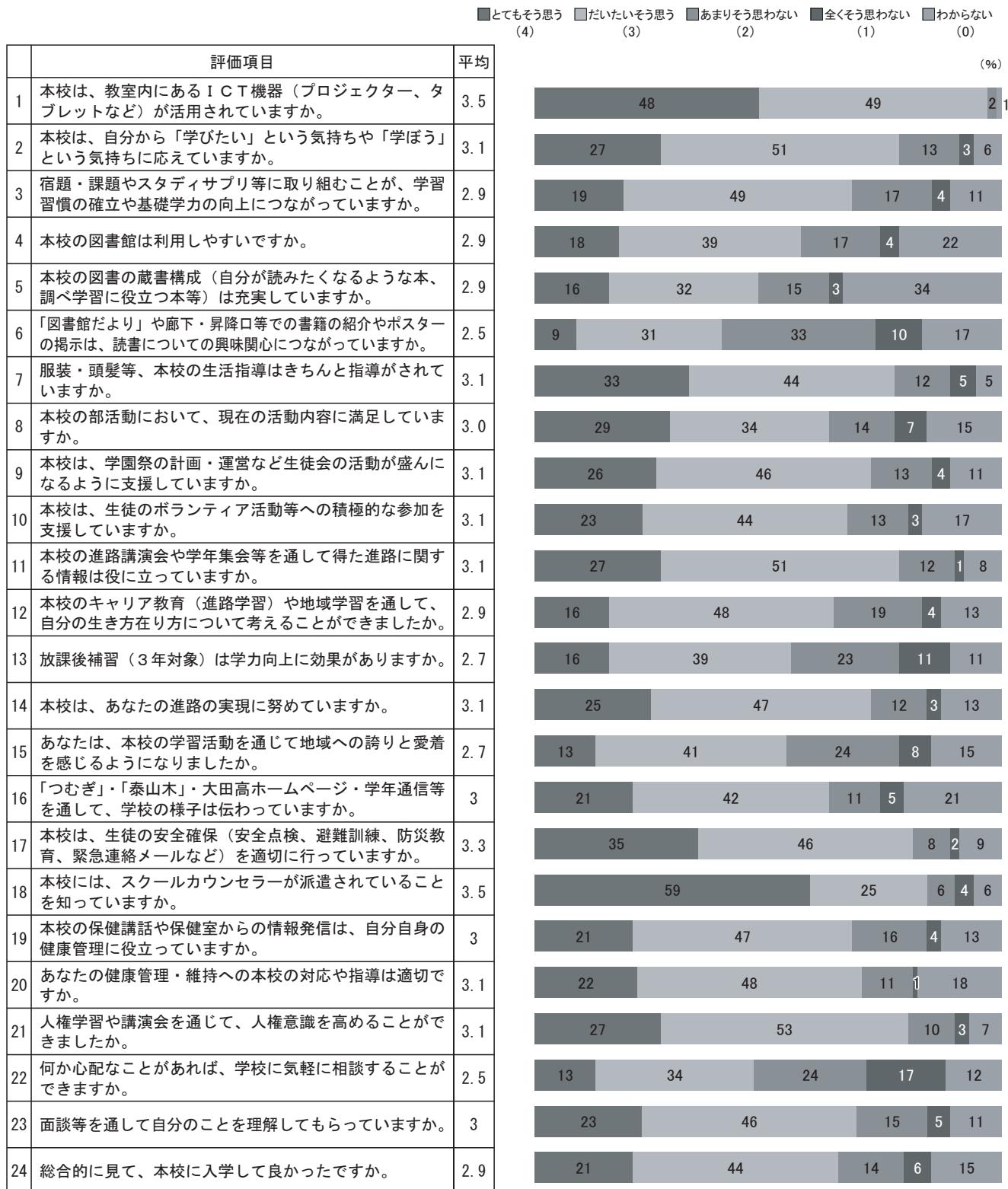
【学校評価アンケートの結果について】

本年度の学校評価アンケートの結果をお知らせします。「学校評価」の制度は、本年度の本校の学校活動を、生徒・保護者・教職員が様々な項目で評価し、その結果を次年度の目標設定や改善策に生かして、より充実した教育活動の実践につなげていくものです。

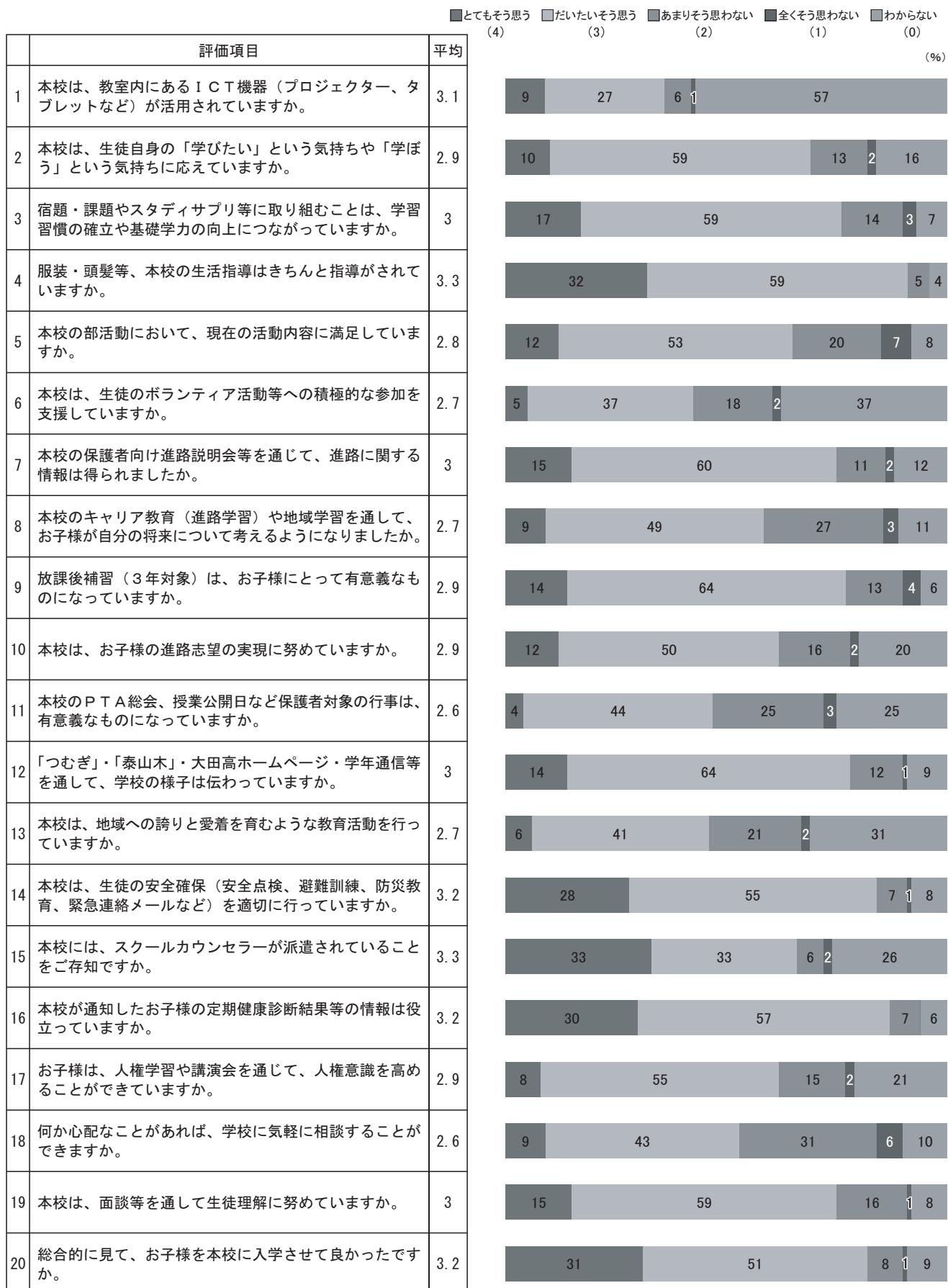
このアンケート結果をふまえて、各担当分掌、学年会で反省と改善策を検討し、学校関係者評価委員会を経て、まとめたものを、後日公表いたします。

保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

平成30年度 大田高校に関する生徒によるアンケート（全学年：417名回答）



平成30年度 大田高校に関する保護者によるアンケート（全体：361名回答）



運動部

▽
県新人戦
〔剣道〕

文化部

健闘光る!!

地域に拡がる学びの種

コーディネーター 森下真穂

近年大田高校では1・2年生の総合的な学習の時間に「地域探究学習」という授業を行っています。この授業では地域でかけ、魅力や課題を探り、魅力発信や課題解決に向けて自分たちができるることをそれぞれチームで考えます。

活動の中では、実際に学校の外に出かけて地域の方にインタビューしたり交流をしたりする機会がありました。印象的だったのは、行く前には難しい顔をしていた大田高生が、帰ってきたときには「大田に住んでいるのに、知らなかったことがたくさんあった！」「あもしろい話が聞けた！」などと外に出かけて得た学びをキラキラした顔で報告してくれたことや、「卒業したら絶対大田からでて都会にいくんだ」と言っていた大高生が、「大田に住むことも未来の選択肢にいれてみようかな」と照れ臭そうに話してくれたこと。「生の声」に触れる事で、こんなにも顔つきが変わることにびっくりしたことを覚えています。地域に出かけ、活躍する人たちと出会ったり、対話をしたりする中で気づいたことや感じたことが「学びの種」となり、深い学びにつながるのだと実感した機会となりました。

このように学校の外にもたくさんの「学びの種」が拡がっています。ただ、いつもいる場所から一歩外に踏み出すことは、勇気のいることなのかもしれません。しかし、踏み出したその先には新しい世界が広がっているはず。まだ見ぬ新しい世界に出会うために、ワクワクする「学びの種」を大高生と一緒にもっともっとみつけていくために、コーディネーターとして、大高生の背中を押せる存在でありたいと思います。

▽全日本アンサンブルコンテスト島根県大会
高等学校の部
フルート三重奏……金賞
サクソフォン三重奏……銀賞

【美術部】
▽山陰道「多岐・朝山道路」カントリー
サイン
原案採用 阪井 悠太
第51回島根県高校美術展

準決勝 準決勝
大田 1-2 松江東
第3位 (中国新人大会出場権獲得)
【柔道】
▽柔道選手権大会島根県予選
男子個人 66kg級 中村 克己 1回戦敗退

▽県新人戦	予選リーグ	大田 0—2 松江南
1回戦	大田 0—2 開星	大田 0—2 開星
県新人戦	予選リーグ	大田 0—2 開星
1回戦	大田 0—2 開星	大田 0—2 開星
男子バスケットボール	予選リーグ敗退	予選リーグ敗退
大田 35—87 浜田	大田 35—87 浜田	大田 35—87 浜田
大田	大田	大田
35—87	35—87	35—87
浜田	浜田	浜田

【全国大会】
▽全国高校文化連盟将棋新人大会(於 岡山県玉野市)
スイス式リーグ5対局
松本 紅葉 2勝 松本 日菜子 1勝
新川 珠深 0勝
予選敗退

【囲碁・将棋】
詩 部 門 入 選 全 国 高 等 学 校 文 芸 コンクール
文芸・報道

今回の全国大会は、今まで出場した個人の大会では一番大きな大会だつたので、とても緊張しました。全部で五局あり、私は二勝三敗という結果で勝ち越しが出来ず悔しかつたですが、この気持ちを次の大会や日頃の将棋の勉強に繋げられるようにしたいです。四月には、全国総文祭への出場をかけた大会が予定されています。自分にとつて良い大会になるよう努力します。

中国大会

【将棋部】
全国大会を終えて



春 習

古

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。未来あるみなさんこれからのご活躍に期待しています。

この一年間、伝統ある「泰山木」の編集に少しでも携わることができ、大田高校の様子、子どもたちの活動、活躍される姿が情報誌として、たくさんの方に読んでいただけたと思っています。

終わりに、発行にご協力いただいた先生方、生徒、保護者の皆様、ありがとうございました。（山尾千恵）

「泰山木」に関わらせていただきながら、自分が現役の二十数年前にもこんなものがあつただろうかと思いつ出そうとしたのですが、まったく記憶になく…。「どこしえ」は覚えているのですが。今号で 114 号。年三回発行で割れば三十八年前には発行し始めた計算。記憶つて当てにならない。

（松本由香里）

この度、総務委員長として「泰山木」の編集に携わらせて頂きました。親御さんに学校生活での活動や雰囲気などをできるだけわかりやすく楽しく読んで頂けるものを、との思いで編集に臨みました。

出来た事は少ないかもしれませんのが、編集に関わらせて頂いたことで色々なものを感じ、知ることができました。ありがとうございました。

（曾我好春）

編集後記